

2020年3月6日

JVOAD

令和元年台風19号被害への対応状況等について（3月6日12:00現在）

新型コロナウイルス感染予防対策のため、2月の後半から3月にかけて予定されていた各地の情報共有会議、イベント、サロン等は中止もしくは延期となっています。本日12:00時点で、把握している状況についてご報告します。

○最新の被害状況（2月12日9時現在 総務省消防庁資料）

<https://www.fdma.go.jp/disaster/info/items/taihuu19gou65.pdf>

人的被害：死者99名（うち災害関連死2名）、行方不明者3名、重傷者40名、軽傷者341名

住家被害：全壊3,280棟、半壊29,638棟、一部損壊35,067棟、床上浸水7,837棟、床下浸水23,092棟

○情報共有会議の開催

現在、情報共有会議については開催が見合されています。4月以降に開催予定となっておりますが、状況次第で変わる可能性もあります。状況分かり次第、JVOADのホームページでも案内いたします。

○現地の状況

①東北方面（宮城県・福島県）

- ・宮城県丸森町では、今年の取水期に向けて、自主防災の取組みを始めている
- ・宮城県、福島県で、支援団体が家電支援を実施予定（現在、調整中）
- ・福島県いわき市の災害ボランティアセンターは閉所、引き続き通常のボランティアセンターで対応
- ・福島県では、応急修理の申請が、3月31日（火）まで延長

②北関東（栃木県・茨城県）

- ・栃木県宇都宮市、栃木市では、DIYセンターが開設され、住民への車両や資機材の貸し出しを実施
- ・カーシェアリング協会が、これまで無料で行っていた車両の貸し出しを、今後有料（安価）に移行予定
- ・茨城県では、予定していた常陸太田市でのサロンを延期、新型コロナウイルスの状況をみながら、再度日程調整を行う
- ・2月21日、茨城県社会福祉協議会主催で「災害時の支援活動報告会」が開催され、約130名が参加

③長野県

- ・長野県と長野災害時支援ネットワークの協働による「ONE NAGANO 基金」（信州災害支援寄付基金）が開設（<https://onenagano.net/>）
- ・地域の拠点として、民間で運営されている地域の居場所「ぬくぬく亭」が、3月より移転、大きな混乱もなく、引き続き住民の方が利用している
- ・2月21日、みなし仮設となった団地で初めての交流会が開催され、少し落ち着いたという声もあるが、人と話すことが減った、この先が不安という声も多く聞かれている

④千葉県

- ・「千葉南部災害支援センター」の協力のもと、千葉県・JVOAD主催で技術系支援団体を講師として、長期化するブルーシートの張り直しに対応するため、消防職員、消防団員、建築業者等を対象に、ブルーシート展張講習会を実施している

○災害ボランティアセンター

開設状況については、全国社会福祉協議会 被災地支援・ボランティア情報をご覧ください。

新型コロナウイルス感染予防対策のため、ボランティア活動を一時休止しているセンターもあります。

URL : <https://www.saigaivc.com/>

○今後について

JVOADとして、引き続き、長野県にスタッフを常駐、その他の地域については出張ベースで対応してまいります。新型コロナウイルスの状況を見ながら、各関係団体、機関と連携して、引き続き、必要なサポート行っていきます。